注３ **大学番号：私348**

［平成２２年度設置］

計画の区分：学部の設置

注１

認可

椙山女学園大学 看護学部

注２

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人　椙山女学園

平成２５年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名

総務部長　吉川（ヨシカワ）　ひとみ

（　係 員　中井（ナカイ）　厚仁（アツヒト））

電話番号　052-781-4317(直通)

（夜間）　同 上

ＦＡＸ　052-781-8831

ｅ－mail　soumuka@ml.sugiyama-u.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「○○大学大学院　・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には設置時の旧名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて，現在の名称を記載してください。

例）　○○大学　△△学部

（□□学部）

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学新設の場合：「○○大学」

・学部の設置の場合：「○○大学　△△学部」

・学部の学科の設置の場合：「○○大学　△△学部　□□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学　△△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院　○○研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「○○大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は，表題を修正してください。

３　大学番号の欄については、平成２５年３月１５日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目　次

１　調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1～４

２　授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5～１３

３　施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４

４　既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５

５　教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６～24

６　留意事項に対する履行状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５～26

７　その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27～33

（資料）１　スクールバス時刻表

２　入学定員の超過状況（国際コミュニケーション学部）

３　椙山女学園大学全学ＦＤ委員会規準

４　看護学部の設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人　椙山女学園

（２）大　学　名

椙山女学園大学

（３）大学の位置

愛知県名古屋市千種区星が丘元町１７番３号

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	認　　可　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（スギヤママサヒロ） 椙　山　正　弘 （平成１７年４月１日）	（モリムネキミオ） 森　棟　公　夫 （平成２４年４年１日）	前任者の辞任に伴い後任として就任(24)
学　　長	（ノブチタツオ） 野　淵　龍　雄 （平成２０年４年１日）	（モリムネキミオ） 森　棟　公　夫 （平成２４年４年１日）	前任者の任期満了に伴い後任として就任（24)
学 部 長	（ゴトウセツコ） 後　藤　節　子 （平成２２年４月１日）	（ゴトウモトミチ） 後　藤　宗　理 （平成２４年４年１日）	前任者の辞任に伴い後任として就任(24)
学科長等		（オオタミチオ） 太　田　美智男 （平成２４年４年１日）	組織的な学部運営を行うため看護学科主任として任命(24)

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２３年度に報告済の内容　→（23）
平成２５年度に報告する内容　→（25）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

（５） 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
・ 様式は，平成２２年度開設の４年制の学科の場合（平成２５年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－① 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
	年	人	年次 人	人	
看護学部 看護学科 学士（看護学）	4	100	0	400	

（注）・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度／区分	平成２２年度		平成２３年度		平成２４年度		平成２５年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 100 (－) [－]	人	人 100 (－) [－]	人	人 100 (－) [－]	人	人 100 (－) [－]	人	1.04倍	
志願者数	665 (－) [－]	(－) [－]	728 (－) [－]	(－) [－]	747 (－) [－]	(－) [－]	705 (－) [－]	(－) [－]		
受験者数	644 (－) [－]	(－) [－]	700 (－) [－]	(－) [－]	725 (－) [－]	(－) [－]	693 (－) [－]	(－) [－]		
合格者数	222 (－) [－]	(－) [－]	288 (－) [－]	(－) [－]	258 (－) [－]	(－) [－]	292 (－) [－]	(－) [－]		
B 入学者数	105 (－) [－]	(－) [－]	104 (－) [－]	(－) [－]	106 (－) [－]	(－) [－]	102 (－) [－]	(－) [－]		
入学定員超過率 B／A	1.05		1.04		1.06		1.02			

（注）・ 数字は，平成２５年５月１日現在の数字を記入してください。
・ （ ）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，(( ))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・ [ ]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２２年度		平成２３年度		平成２４年度		平成２５年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[－] 105	[－] －	[－] 104	[－]	[－] 107	[－] －	[－] 103	[－] －	
２年次			[－] 105	[－]	[－] 103	[－] －	[－] 107	[－] －	
３年次					[－] 105	[－] －	[－] 103	[－] －	
４年次							[－] 103	[－] －	
計	[－] 105		[－] 209		[－] 315		[－] 416		

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数（内訳）			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合（a/b）
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成22年度入学者	105 人	1 人	平成22年度	人	人		1.0%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	1 人	人	一身上の都合	
			平成25年度	人	人		
平成23年度入学者	104 人	0 人	平成23年度	人	人		0.0%
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度入学者	106 人	0 人	平成24年度	人	人		0.0%
			平成25年度	人	人		
平成25年度入学者	102 人	0 人	平成25年度	人	人		0.0%
合　計	417 人	1 人					0.2%

（注）・ 数字は，平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）

・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（〇人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通科目		人間論	1前	2			2					兼	2	兼任教員の担当辞退に伴い、担当教員の担当範囲の変更(25) 担当：後藤宗理（教授） 平成24年7月教員審査済　判定　可
教養教育科目	思想と表現	哲学	1・2後		2							兼	1	
		文学	1・2前		2							兼	1	
		芸術	1・2後		2							兼	2	
		心理	1前	2			1							
		人類学	1・2前		2							兼	1	
	歴史と社会	歴史	1・2後		2							兼	1	
		日本国憲法	1前 ~~1後~~	2								兼	1	より教育効果の高い時間割編成のため開講期別を変更（22）
		教育	1・2前		2		1							
	自然と科学技術	環境の科学	1・2前		2							兼	1	
		生命の科学	1前	2								兼	1	
		自然の科学	1・2前 ~~1・2後~~		2							兼	1	より教育効果の高い時間割編成のため開講期別を変更（22）
		物理の世界	~~1・2前~~ ~~1・2後~~ ~~1・2後~~ ~~1・2前~~ 1・2前 ~~1・2後~~		2							兼	1	より教育効果の高い時間割編成のため開講期別を変更（22） より教育効果の高い時間割編成のため開講期別を変更（23） 担当者の変更に伴う開講期別の変更（24）
		化学の世界	1・2後		2							兼	1	
	数理と情報	数理の世界	1・2前		2							兼	1	
		統計の世界	1・2前 ~~1・2後~~		2							兼	1	より教育効果の高い時間割編成のため開講期別を変更（22）
		コンピュータと情報	1前	2								兼	1	
		コンピュータと情報（応用）	1後		2							兼	2	
	言語とコミュニケーション	外国語（英語）Ⅰ	1前	1								兼	2	
		外国語（英語）Ⅱ	1後	1								兼	2	
		外国語（英語）Ⅲ	1・2前		1							兼	1	
		外国語（英語）Ⅳ	1・2後		1							兼	1	
		外国語（中国語）Ⅰ	1・2前		1							兼	2	
		外国語（中国語）Ⅱ	1・2後		1							兼	2	
		外国語（ポルトガル語）Ⅰ	1・2前		1							兼	1	
		外国語（ポルトガル語）Ⅱ	1・2後		1							兼	1	
	健康運動とスポーツ	健康運動の科学と実践	1後	2								兼	3	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目（専門基礎科目）	ファーストイヤーゼミ	ファーストイヤーゼミ	1前	1			13 ~~11~~	6 ~~8~~	7 ~~9~~ ~~7~~	0 ~~2~~	16 ~~14~~ ~~11~~			教育環境の充実のため、補助担当として助手を追加(22) 教育環境の充実のため、補助担当として助手を追加（23） 専任教員１名（講師）退職により，担当教員の一部変更 担当：西田友子（講師） ~~平成23年7月 提出予定~~ 平成23年7月　教員審査済　判定　可(24) 専任教員（教授4名）の退職、新規採用及び担当教員の職位変更により担当教員数の変更(24) 担当：箭野育子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：石原由華（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：小島重子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：西谷直子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：星野純子（准教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：奥川ゆかり（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：原好恵（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：安本卓也（講師） 平成24年1月教員審査済　判定　可 専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：生田美智子（准教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：阪口しげ子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：佐原弘子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：杉浦美佐子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：服部律子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
	人間の理解	人間関係論	1後	2								兼	1	
		ボランティア論	2前	1								兼	1	
		倫理学（バイオエシックス）	1後	1			1							専任教員1名（教授）退職により、担当教員の一部変更(24) 担当：鳥居修平（教授） ~~平成24年7月提出予定~~ 平成24年7月教員審査　判定　可(25)
		臨床心理学	1後	1								兼	1	
		カウンセリング論	2後	1								兼	1	
		言語表現と伝達	1前		1							兼	1	
		人体の構造機能学Ⅰ（総論）	1前	2			1							
		人体の構造機能学Ⅱ	1前	1			1							
		人体の構造機能学Ⅲ	1後	1			1							
		栄養代謝学（生化学を含む。）	1後	1			1					兼	1	
		生体防御学（免疫学）	2前	1			1							
	人間と健康	疾病治療論Ⅰ（総論）	1後	2			1							
		疾病治療論Ⅱ（成人・老年）	1後	1			2							
		疾病治療論Ⅲ（成人・老年）	2前	1			1							
		疾病治療論Ⅳ（母性・小児）	1後	1			1 ~~2~~					兼	1	専任教員1名（教授）退職により、担当教員の一部変更(24)
		栄養治療論（食品学を含む。）	2前	1			1					兼	1	
		医療薬理学	2後	1			1							
		リハビリテーション論	1後	1			0 ~~1~~	1				兼	1	専任教員の退職、新規採用により担当教員の一部変更(25) 担当：生田美智子（准教授） 平成25年7月教員審査提出予定
		性差保健医学	4後		1		0 ~~1~~					兼	2	専任教員1名（教授）退職により、担当教員の一部変更(25)
		医療活動と協働	4前 ~~4後~~		1							兼	1	より教育効果の高い時間割編成のため開講期別を変更（25）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目（専門科目）	人間と環境	感染予防学（微生物学）	2前	1			2 ~~1~~	0 ~~1~~						担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：石原由華（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可
		感染予防学演習	3前	1			2 ~~1~~	0 ~~1~~						担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：石原由華（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可
		社会福祉学	1後 ~~1前~~	2								兼	1	より教育効果の高い時間割編成のため開講期別を変更（25）
		公衆衛生学	2前	1			1							
		保健統計学	2前	1			1							
		疫学	2後	2			1	0 ~~1~~	1 ~~2~~			兼	1	専任教員1名（講師）退職により、担当教員の一部変更(23) 担当：西田友子（講師） ~~平成23年7月 提出予定~~ 平成23年7月　教員審査済　判定　可(24) 担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：星野純子（准教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員1名（准教授）退職により、担当教員の一部変更(25)
		保健福祉行政論	3前	2			1							
		保健医療概論	3前		1		1							
		養護概論	2前		2							兼	1	
専門教育科目（専門科目）	基礎看護学	看護学概論（看護理論を含む。）	1前	2			1							担当教員が退職した後、非常勤講師に身分を変え、引き続き同科目を担当(24) 新規採用により、担当教員の一部変更（25） 担当：杉浦美佐子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		看護倫理	1後 ~~1前~~	1			1							専任教員1名（教授）退職により、担当教員の変更(24) より教育効果の高い時間割構成のために開講期別を変更（24） 担当：箭野育子（教授） 平成24年1月教員審査済　判定　可
		フィジカルアセスメント学演習	2前	1			1 ~~0~~	1 ~~2~~	0 ~~1~~ ~~0~~	0 ~~1~~	4			担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：石原由華（教授） 平成24年1月教員審査済　判定　可 担当：原好恵（講師） 平成24年1月教員審査済　判定　可 専任教員1名（講師）の育児休業により、担当教員の一部変更(25)
		看護過程展開方法論（ケースメソッドを含む。）	2前	1			1 ~~0~~	0	0 ~~1~~	0 ~~1~~	4			担当教員の新規追加採用に伴う担当者の変更(24) 担当：箭野育子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員の新規採用より担当教員数の変更(25) 担当：杉浦美佐子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		看護過程展開論演習（ケースメソッドを含む。）	2後	1			2 ~~0~~	1 ~~2~~	2 ~~1~~	0 ~~1~~	4			担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：石原由華（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：原好恵（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当教員の新規追加採用に伴う担当者の変更(24) 担当：箭野育子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：杉浦美佐子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		コミュニケーション技術論演習	1前 ~~1後~~	1			0 ~~1~~	1 ~~0~~	1 ~~0~~		4			担当教員（教授）の退職により、担当教員を変更(24) 担当：熊澤千恵（准教授） 平成24年1月教員審査済　判定　可 担当：井野恭子（講師） 平成24年1月教員審査済　判定　可
		基礎看護技術学演習Ⅰ（安全・安楽確保の援助技術）	1後	1			1	1 ~~2~~	1		4			担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：石原由華（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員1名（教授）退職により、担当教員数の変更(24)

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目（専門科目）	基礎看護学	基礎看護技術学演習Ⅱ（生活行動の援助技術）	1後	1			~~0~~ 1	~~1~~ 0	~~2~~ 1	~~0~~ 1	4		担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：原好恵（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員1名（教授）退職により、担当教員数の変更(24)
		基礎看護技術学演習Ⅲ（診療援助技術）	2前	1			~~2~~ 1	~~0~~ 1	~~1~~ 2 ~~1~~	~~0~~ 1	4		担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：石原由華（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：原好恵（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当教員の新規追加採用に伴う担当者の変更(24) 担当：箭野育子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員1名（教授）退職により、担当教員数の変更(24) 専任教員1名（講師）の育休により、担当教員の一部変更及び別担当教員の担当範囲の変更(25) 担当：石原由華（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：箭野育子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：井野恭子（講師） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		看護健康教育論	3前		2		~~3~~ 2 ~~0~~	~~1~~ 0	2 ~~3~~ 4				担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：小島重子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：星野純子（准教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員1名（教授）退職により、担当教員数の変更(24) 専任教員の退職、新規採用及び担当教員の職位変更により担当教員数の変更(25) 担当：石原由華（教授） 平成24年7月教員審査済　判定　可 担当：阪口しげ子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：生田美智子（准教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
	成人・老年看護学	療養支援看護学概論（成人・老年）	2前	2			1 ~~2~~ 1	2					より効果の高い教育の実施のために担当教員を追加(24) 担当：小島重子（教授） 平成24年1月教員審査済　判定　可 専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：佐原弘子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		療養支援看護論Ⅰ（急性期・回復期・周手術期）	2後	1			1 ~~2~~ 1	~~0~~ 1					担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：小島重子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：佐原弘子（教授） 平成25年7月教員審査提出予定
		療養支援看護論Ⅱ（慢性期・老年期）	2後	1			0 ~~1~~ ~~0~~	3 ~~2~~	1 2				より効果の高い教育の充実のために担当教員を追加及び担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：小島重子（教授） 平成24年1月教員審査済　判定　可 担当：星野純子（准教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：生田美智子（准教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		療養支援看護論Ⅲ（終末期）	3前 ~~3後~~		1			1					より教育効果の高い時間割編成のため開講期別を変更(24)
		療養支援看護論演習Ⅰ（成人期）	3前	1			1 ~~2~~ 1	2 ~~0~~	0 ~~1~~		5		担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：小島重子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：星野純子（准教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：佐原弘子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：生田美智子（准教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		療養支援看護論演習Ⅱ（老年期）	3前	1				1	1		2		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目（専門科目）	母性・小児看護学	母子支援看護学概論（小児・母性）	2前	2			~~2~~ 1		~~2~~ 1	0			専任教員1名（教授）退職により、担当教員の変更(24) 担当：深谷久子（講師） 平成24年１月教員審査済　判定　可 担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：奥川ゆかり（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：阪口しげ子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：服部律子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		母子支援看護論Ⅰ（小児）	2後	1			~~1~~ 1		~~1~~ 1				専任教員1名（教授）退職により、担当教員数及び担当範囲の変更(24) 担当：深谷久子（講師） 平成24年１月教員審査済　判定　可 担当：安本卓也（講師） 平成24年１月教員審査済　判定　可 専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：阪口しげ子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		母子支援看護論Ⅱ（母性）	2後	1			1		2	0			担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：奥川ゆかり（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 より効果の高い教育の実施のために新規採用教員を担当教員として追加(25) 担当：服部律子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		母子支援看護論演習Ⅰ（小児）	3前	1			~~1~~ 1		~~1~~ 1		2		専任教員1名（教授）退職により、担当教員数の変更(24) 担当：安本卓也（講師） 平成24年1月教員審査済　判定　可 専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：阪口しげ子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		母子支援看護論演習Ⅱ（母性）	3前	1			1		2	0	3		担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：奥川ゆかり（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 より効果の高い教育の実施のために新規採用教員を担当教員として追加(25) 担当：服部律子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
	地域・在宅・精神看護学	地域・在宅・精神看護学概論	2前	2			1	1					
		地域看護支援技術論	2後	1				1	1				専任教員1名（講師）退職により、担当教員の一部変更(23) 担当：西田友子（講師） ~~平成23年7月 提出予定~~ 平成23年7月　教員審査済　判定　可(24)
		在宅看護支援論	2前	1			1	1					
		精神看護支援論（精神健康障害を含む。）	2後	1				1	1			兼	1
		在宅精神看護論	2後		1		1	1	~~2~~ 1				専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：阪口しげ子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		地域看護行政・管理論	3前	2			2 1	1 ~~2~~					担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：西谷直子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可
		地域看護活動実践論	2後	2			~~1~~ 1	0 ~~1~~	~~1~~ 1				専任教員1名（講師）退職により、担当教員の一部変更及び別担当教員の担当範囲の変更(23) 担当：西田友子（講師） ~~平成23年7月 提出予定~~ 平成23年7月　教員審査済　判定　可(24) 担当：西谷直子（准教授） ~~平成23年7月 提出予定~~ 平成23年7月　教員審査済　判定　可(24)
		地域健康教育指導論	3前	1			~~1~~ 1	0 ~~1~~	1				専任教員1名（講師）退職により、担当教員の一部変更(23) 担当：西田友子（講師） ~~平成23年7月 提出予定~~ 平成23年7月　教員審査済　判定　可(24) 担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：西谷直子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可
		地域・在宅看護学演習	3前	1			2 1	1 ~~2~~	1		4		専任教員1名（講師）退職により、担当教員の一部変更(23) 担当：西田友子（講師） ~~平成23年7月 提出予定~~ 平成23年7月　教員審査済　判定　可(24) 担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：西谷直子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可
		精神看護技術学演習	3前	1				1	1		2		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目（専門科目）	臨地実習	早期体験実習	1前	1			~~3~~ 2 ~~1~~	2 ~~3~~	~~2~~ 3 ~~2~~	0 ~~1~~	8		専任教員1名（教授）退職により、担当教員の一部変更(24) 担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：石原由華（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：原好恵（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当教員の新規追加採用に伴う担当者の変更(24) 担当：箭野育子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：杉浦美佐子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		基礎看護技術学実習	2後	1			~~3~~ 2 ~~1~~	1 ~~2~~	2 ~~1~~	0 ~~1~~	8		専任教員1名（教授）退職により、担当教員の一部変更(24) 担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：石原由華（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：原好恵（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当教員の新規追加採用に伴う担当者の変更(24) 担当：箭野育子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 より効果の高い教育の実施のために新規採用教員を担当教員として追加(25) 担当：杉浦美佐子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		看護過程展開論実習	3前	1			2 ~~1~~	1 ~~2~~	~~1~~ 2 ~~1~~	0 ~~1~~	13		専任教員1名（教授）退職により、担当教員の一部変更(24) 担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：石原由華（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：原好恵（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当教員の新規追加採用に伴う担当者の変更(24) 担当：箭野育子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員1名（講師）の育休及び新規採用により担当教員の一部変更(25) 担当：杉浦美佐子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		慢性期成人看護学実習	3～4通年	3			~~0~~ 2 ~~1~~	2 ~~0~~	0 ~~1~~		5		担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：小島重子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：星野純子（准教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：生田美智子（准教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		急性期成人看護学実習	3～4通年	3			1 ~~2~~ ~~1~~	~~0~~ 1 ~~0~~	0 ~~1~~		3		担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：小島重子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：星野純子（准教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：佐原弘子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		老年看護学実習	3～4通年	2				1	1		4		
		小児看護学実習	3～4通年	3			1 ~~0~~ ~~1~~		1 ~~2~~ ~~1~~		2		専任教員1名（教授）退職により、担当教員の一部変更(24) 担当教員の新規追加採用に伴う担当者の変更(24) 担当：安本卓也（講師） 平成24年1月教員審査済　判定　可 専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：阪口しげ子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		母性看護学実習	3～4通年	2			1		2 ~~1~~	0 ~~1~~	4		担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：奥川ゆかり（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 より効果の高い教育の実施のために新規採用教員を担当教員として追加(25) 担当：服部律子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		精神看護学実習	3～4通年	2				1	1		2		
		在宅看護学実習	3～4通年	2			1	1	0 ~~1~~		5		専任教員1名（講師）の退職による担当教員数の一部変更(23)

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目（専門科目）	臨地実習	地域公衆衛生看護学実習	3～4通年	3			2 ~~1~~	1 ~~2~~	1		5		専任教員1名（講師）退職により、担当教員の一部変更(23) 担当：西田友子（講師） ~~平成23年7月 提出予定~~ 平成23年7月　教員審査済　判定　可(24) 担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：西谷直子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可
		総合実習	4前	1			1 ~~0~~		1 ~~2~~ ~~1~~	0 ~~1~~	10		専任教員1名（教授）退職による担当教員の変更(24) 担当：箭野育子（教授） 平成24年1月教員審査済　判定　可 担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：原好恵（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員1名（講師）の育休により、担当教員の一部変更(25)
	総合看護学	看護管理学（リーダーシップ論を含む。）	3前	2			1						専任教員1名（教授）の退職による担当教員の変更(24) 担当：箭野育子（教授） 平成24年1月教員審査済　判定　可
		家族看護学	3前	2			2 ~~1~~	1 ~~2~~	2 ~~3~~ ~~2~~				担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：石原由華（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：奥川ゆかり（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員1名（教授）の退職による担当教員の担当範囲の変更(24) 担当：荒井淑子（准教授） 平成24年1月教員審査済　判定　可 専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：阪口しげ子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		国際看護論	4後		1							兼	1	
		災害看護学	4後	1								兼	1	
		リスクマネジメント（安全・管理）	2後	1								兼	1	
		総合技術論演習	4後	1			3 ~~2~~ ~~1~~	1 ~~2~~	2 ~~1~~	0 ~~1~~			専任教員1名（教授）の退職による担当教員の変更(24) 担当：箭野育子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：石原由華（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：原好恵（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 より効果の高い教育の実施のために新規採用教員を担当教員として追加(25) 担当：杉浦美佐子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		統合看護論	4後	2			8 ~~7~~ 4	2 4	4 ~~5~~ ~~6~~				専任教員1名（講師）退職により、担当教員の一部変更(23) 担当：西田友子（講師） ~~平成23年7月 提出予定~~ 平成23年7月　教員審査済　判定　可(24) 担当教員の職位変更による専任教員配置数の変更(24) 担当：石原由華（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：小島重子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：西谷直子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：星野純子（准教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：生田美智子（准教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：阪口しげ子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：佐原弘子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目（専門科目）	総合看護学	原書講読・研究序論	3前 3後	1			13 ~~11~~ ~~0~~	6 ~~8~~	7 ~~9~~ ~~7~~	0 ~~2~~		専任教員1名（講師）退職により、担当教員の一部変更(23) 担当：西田友子（講師） ~~平成23年7月 提出予定~~ 平成23年7月　教員審査済　判定　可(24) 専任教員（教授4名）の退職、新規採用及び担当教員の職位変更により担当教員数の変更(24) 担当：箭野育子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：石原由華（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：小島重子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：西谷直子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：星野純子（准教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：奥川ゆかり（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：原好恵（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：安本卓也（講師） 平成24年1月教員審査済　判定　可 専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：生田美智子（准教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：阪口しげ子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：佐原弘子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：杉浦美佐子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：服部律子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可
		看護研究（卒業論文）	4通年	2			13 ~~11~~	6 ~~8~~	8 ~~9~~ ~~7~~	0 ~~2~~		専任教員1名（講師）退職により、担当教員の一部変更(23) 担当：西田友子（講師） ~~平成23年7月 提出予定~~ 平成23年7月　教員審査済　判定　可(24) 専任教員（教授4名）の退職、新規採用及び担当教員の職位変更により担当教員数の変更(24) 担当：箭野育子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：石原由華（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：小島重子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：西谷直子（教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：星野純子（准教授） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：奥川ゆかり（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：原好恵（講師） 平成23年7月教員審査済　判定　可 担当：安本卓也（講師） 平成24年1月教員審査済　判定　可 専任教員の退職、新規採用により担当教員数の変更(25) 担当：生田美智子（准教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：阪口しげ子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：佐原弘子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：杉浦美佐子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可 担当：服部律子（教授） 平成25年1月教員審査済　判定　可

（注）・　認可申請書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２４年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
　なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
・　授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成〇年〇月　提出予定」と記入してください。）
・　「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２） 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
81	28	0	109	83 [2]	41 [13]	0 [－]	124 [15]	「保健師助産師看護師学校養成指定規則の一部を改正する省令」（平成２３年文部科学省・厚生労働省令第１号）の施行に伴う措置のため

（注）・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［ ］内に，設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
	該当なし					

（注）・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
	該当なし					

（注）・設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

（注）・小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	69,144.00 ㎡ ~~60,770.00 ㎡~~ ~~48,296.76 ㎡~~			69,144.00 ㎡ ~~60,770.00 ㎡~~ ~~48,296.76 ㎡~~	運動場については校舎敷地と別地（バス12分）
	運動場用地	44,801.00 ㎡ ~~72,319.00 ㎡~~ ~~71,051.00 ㎡~~ ~~52,275.00 ㎡~~			44,801.00 ㎡ ~~72,319.00 ㎡~~ ~~71,051.00 ㎡~~ ~~52,275.00 ㎡~~	昨年度の当該学部の位置するキャンパスのみから、大学全体に対象変更(23)
	小計	113,945.00 ㎡ ~~133,089.00 ㎡~~ ~~131,821.00 ㎡~~ ~~100,571.76 ㎡~~			113,945.00 ㎡ ~~133,089.00 ㎡~~ ~~131,821.00 ㎡~~ ~~100,571.76 ㎡~~	一部土地取得による数値の変更。平成23年2月私学部私学行政課と協議済(23)
	その他	0.00 ㎡ ~~1,269.66 ㎡~~ ~~2,781.24 ㎡~~			0.00 ㎡ ~~1,269.66 ㎡~~ ~~2,781.24 ㎡~~	土地地目変更による数値の変更(24)
	合計	113,945.00 ㎡ ~~133,089.00 ㎡~~ ~~133,090.66 ㎡~~ ~~103,353.00 ㎡~~			113,945.00 ㎡ ~~133,089.00 ㎡~~ ~~133,090.66 ㎡~~ ~~103,353.00 ㎡~~	換地処分による数値の変更(25)

(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	78951.94 ㎡ (78951.94 ㎡) ~~50,464.78 ㎡~~ ~~(50,464.78㎡)~~			78951.94 ㎡ (78951.94 ㎡) ~~50,464.78 ㎡~~ ~~(50,464.78 ㎡)~~	昨年度の当該学部の位置するキャンパスのみから、大学全体に対象変更(23)

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	84室	57室 ~~61室~~	90室	28室 ~~26室~~ （補助職員11人）	0室 （補助職員0人）	情報処理学習施設の増加による変更(24)

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	
	看護学部　看護学科	36	室

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	看護学部	446,111〔96,170〕 ~~439,624〔95,788〕~~ ~~349,781〔79,023〕~~ ~~343,390〔78,404〕~~	2,421〔812〕 ~~2,054〔652〕~~ ~~2,021〔640〕~~ ~~2,011〔639〕~~	7〔4〕 ~~8〔5〕~~ ~~6〔4〕~~ ~~5〔1〕~~	22,474 ~~22,736~~ ~~18,742~~ ~~18,324~~	4,978 ~~4,974~~ ~~5,505~~	156 ~~119~~ ~~108~~	平成22年度取得・処分等による変更(23)　平成23年度取得・処分等による変更(24)
		446,111〔96,170〕 ~~439,624〔95,788〕~~ ~~(349,781〔79,023〕)~~ ~~(343,390〔78,404〕)~~	2,421〔812〕 ~~2,054〔652〕~~ ~~(2,021〔640〕)~~ ~~(2,011〔639〕)~~	7〔4〕 ~~8〔5〕~~ ~~6〔4〕~~ ~~5〔1〕~~	22,474 ~~22,736~~ ~~18,742~~ ~~(18,324)~~	4,978 ~~4,974~~ ~~(5,505)~~	156 ~~119~~ ~~(108)~~	
	計	446,111〔96,170〕 (446,111〔96,170〕) ~~439,624〔95,788〕~~ ~~(439,624〔95,788〕)~~ ~~349,781〔79,023〕~~ ~~(349,781〔79,023〕)~~ ~~343,390〔78,404〕~~ ~~(343,390〔78,404〕)~~	2,421〔812〕 (2,421〔812〕) ~~2,054〔652〕~~ ~~(2,054〔652〕)~~ ~~2,021〔640〕~~ ~~(2,021〔640〕)~~ ~~2,011〔639〕~~ ~~(2,011〔639〕)~~	7〔4〕 7〔4〕 ~~8〔5〕~~ ~~8〔5〕~~ ~~6〔4〕~~ ~~6〔4〕~~ ~~5〔1〕~~ ~~5〔1〕~~	22,474 (22,474) ~~22,736~~ ~~(22,736)~~ ~~18,742~~ ~~(18,742)~~ ~~18,324~~ ~~(18,324)~~	4,978 (4,978) ~~4,974~~ ~~(4,974)~~ ~~5,505~~ ~~(5,505)~~ ~~5,505~~ ~~(5,505)~~	156 (156) ~~119~~ ~~(119)~~ ~~108~~ ~~(108)~~ ~~108~~ ~~(108)~~	平成24年度取得・処分等による変更(25)

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	3,427.97 ㎡	444 ~~440~~ 席	323,789 冊	申請時の記載の誤記の修正(25)

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		
	3,980.94 ㎡	7 テニスコート~~6~~面	ゴルフ練習場 20 打席	体育館以外のスポーツ施設については校舎敷地と別地（バス12分及び徒歩5分）

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	
経費の見積り	教員１人当り研究費等	実験系 862千円 非実験系 579千円	実験系 862千円 非実験系 579千円	図書購入費	6,021千円	5,000千円	5,000千円	1．共同研究費 (1) Ａは学部の教員を対象とし、配分は学部長が教員の希望を取りまとめ教授会で決定する。 (2) Ｂは全学の教員を対象とし、委員会で配分を取りまとめ、学長が決定する。 2．開設年度以降の図書購入費及び設備購入費については、新規事業予算としての見積りはない。経常費予算の中で必要額を予算化して対応する。
	共同研究費等	A 3,000千円 B 15,000千円	A 3,000千円 B 15,000千円	設備購入費	458,136千円	0千円	0千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,900千円	1,700千円	1,700千円	1,700千円	－　千円	－　千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(5)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２５年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（25）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

４　既設大学等の状況

大学の名称	椙山女学園大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
大学院 生活科学研究科 人間生活科学専攻	3	3	－	9	博士 （人間生活科学）	0.33	平成13	名古屋市千種区星が丘元町17番3号	
生活科学研究科 食品栄養科学専攻	2	6	－	12	修士 （生活科学）	0.74	昭和52		
生活科学研究科 生活環境学専攻	2	6	－	12	修士 （生活科学）	0.33	昭和52		
人間関係学研究科 人間関係学専攻	2	20	－	40	修士 （生活科学）	0.65	平成11	愛知県日進市岩崎町竹ノ山3丁目2005番地	
生活科学部 管理栄養学科	4	120	－	480	学士 （生活科学）	1.02	昭和24	名古屋市千種区星が丘元町17番3号	平成19年度から食品栄養学科の専攻（食品栄養学専攻及び管理栄養士専攻）を廃止し管理栄養学科に名称変更 平成19年度から入学定員を変更（食品栄養学科135人→管理栄養学科120人）
生活環境デザイン学科	4	132	2年次２ 3年次３	540	学士 （生活科学）	1.10	昭和24		
国際コミュニケーション学部 国際言語コミュニケーション学科	4	105	3年次10	440	学士 （国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学）	1.08	平成15		
表現文化学科	4	95	3年次10	400	学士 （国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学）	1.09	平成15		
人間関係学部 人間関係学科	4	120	3年次 8	496	学士 （人間関係学）	1.18	昭和62	愛知県日進市岩崎町竹ノ山3丁目2005番地	平成19年度から入学定員を変更（150人→120人） 平成19年度から3年次編入学定員を変更（15人→8人）
心理学科	4	100	3年次 8	416	学士 （人間関係学）	1.12	平成14		平成19年度から臨床心理学を心理学科に名称変更 平成19年度から臨床心理学科の3年次編入学定員を変更（15人→8人）
文化情報学部 文化情報学科	4	120	3年次 2	484	学士 （文化情報学）	1.08	平成12	名古屋市千種区星が丘元町17番3号	平成23年度より入学定員（200人）を120人に変更。 平成25年度より3年次編入学定員（5人）を2人に変更。
ﾒﾃﾞｨｱ情報学科	4	120	3年次 3	486	学士 （ﾒﾃﾞｨｱ情報学）	1.09	平成23		平成23年度開設年次進行中
現代マネジメント学部 現代マネジメント学科	4	170	－	680	学士 （ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ）	1.08	平成15		
教育学部 子ども発達学科	4	160	2年次２ 3年次３	652	学士 （教育学）	1.06	平成19		平成24年度より入学定員を変更（147名→160名）
看護学部 看護学科	4	100	－	400	学士 （看護学）	1.04	平成22		平成22年度開設年次進行中

（注）・　本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）について，それぞれの学校種ごとに，平成２５年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。その際，ＡＣ対象学部学科等についても当該様式に記入してください。（ただし，専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）

・「定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第２位まで（小数点第３位を切り捨て）を，学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には，専攻課程）単位で記入してください。

・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「－」とし，「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

＜看護学部 看護学科＞

（1）担当教員表

設置時計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	後藤 節子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 倫理学（バイオエシックス） 疾病治療論Ⅳ（母性・小児） 性差保健医学 原書講読・研究序論						平成24年3月31日付け、一身上の都合により退職。一部科目については、他の教員が担当することとし、平成24年7月教員審査提出予定(24)
					兼任	講師	炭竈 誠二	平成24年9月	疾病治療論Ⅳ（母性・小児）	
					兼任	講師	片平 智行	平成25年9月	性差保健医学	「倫理学（バイオエシックス）」については、鳥居修平教授が平成24年7月教員審査を経て担当(25)
					兼任	講師	孫田 信一	平成25年9月		
					専	教授	服部 律子	平成25年4月	ファーストイヤーゼミ 母子支援看護学概論 （小児・母性） 母子支援看護論Ⅱ（母性） 母子支援看護論演習Ⅱ（母性） 母性看護学実習 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	後任として平成25年1月の教員審査を経て、平成25年4月より服部律子教授が就任(25)
専	教授	石井 英子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 看護健康教育論 地域・在宅・精神看護学概論 在宅看護支援論 地域看護行政・管理論 地域・在宅看護学演習 在宅看護学実習 地域公衆衛生看護学実習 統合看護論 原書購読・研究序論 看護研究（卒業論文）	専	教授	石井 英子	平成24年4月	ファーストイヤーゼミ 看護健康教育論 地域・在宅・精神看護学概論 公衆衛生看護学概論 在宅・精神看護学概論 在宅看護支援論 地域看護行政・管理論 地域・在宅看護学演習 在宅看護学実習 地域公衆衛生看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	担当科目の一部追加変更(24)平成23年7月教員審査済
専	教授	太田 美智男	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 栄養代謝学（生化学を含む。） 生体防御学（免疫学） 栄養治療論（食品学を含む。） 感染予防学（微生物学） 感染予防学演習 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）						
専	教授	木村 美智子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 看護学概論（看護理論を含む。） 基礎看護技術学演習Ⅰ （安全・安楽確保の援助技術） 基礎看護技術学演習Ⅱ （生活行動の援助技術） 基礎看護技術学演習Ⅲ （診療援助技術） 看護健康教育論 早期体験実習 基礎看護技術学実習 看護過程展開論実習 総合技術論演習 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	兼任	講師	木村 美智子	平成24年4月	看護学概論（看護理論を含む。）	平成24年3月31日付け一身上の都合により退職。退職後、同氏は非常勤講師として左記科目を担当。他科目については、平成24年7月教員審査提出予定(24)
					専	教授	杉浦 美佐子	平成25年4月	ファーストイヤーゼミ 看護学概論（看護理論を含む。） 看護過程展開方法論 （ケースメソッドを含む。） 看護過程展開論演習 （ケースメソッドを含む） 早期体験実習 基礎看護技術学実習 看護過程展開論実習 総合技術論演習 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	木村美智子氏は平成24年度をもって非常勤講師も辞任したため、後任として平成25年1月の教員審査を経て、平成25年4月より杉浦美佐子教授が就任。その他科目は他の教員が分担して担当(25)
専	教授	栗田 孝子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 看護倫理 コミュニケーション技術論演習 看護管理学 （リーダーシップ論を含む。） 総合実習 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）						平成24年3月31日付け一身上の都合により退職。同氏の担当科目については、他の専任教員が教員審査を経て分担担当(24)
専	教授	後藤 宗理	平成22年4月	人間論 心理 教育 ファーストイヤーゼミ 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）						「人間論」の担当範囲の変更により、平成24年7月に教員審査提出予定(24) 平成24年7月教員審査済(25)

設置時計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	柴山 健三	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ リハビリテーション論 療養支援看護学概論（成人・老年） 療養支援看護論Ⅰ （急性期・回復期・周手術期） 療養支援看護論演習Ⅰ（成人期） 慢性期成人看護学実習 急性期成人看護学実習 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	専	教授	佐原 弘子	平成25年4月	ファーストイヤーゼミ 療養支援看護学概論（成人・老年） 療養支援看護論演習Ⅰ（成人期） 急性期成人看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	平成25年3月31日付け一身上の都合により退職。後任として平成25年1月の教員審査を経て、平成25年4月より佐原弘子教授が就任。(25) 「療養支援看護論Ⅰ（急性期・回復期・周手術期）」を追加担当するため、平成25年7月に教員審査提出予定(25)
専	教授	菅屋 潤壹	平成23年4月	ファーストイヤーゼミ 人体の構造機能学Ⅰ（総論） 人体の構造機能学Ⅱ 人体の構造機能学Ⅲ 疾病治療論Ⅱ（成人・老年） 医療薬理学 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）						
兼任	講師	菅屋 潤壹	平成22年4月	人体の構造機能学Ⅰ（総論） 人体の構造機能学Ⅱ 人体の構造機能学Ⅲ 疾病治療論Ⅱ（成人・老年）						
専	教授	田邊 恵子	平成23年4月	ファーストイヤーゼミ 母子支援看護学概論（小児・母性） 母子支援看護論Ⅰ（小児） 母子支援看護論演習Ⅰ（小児） 小児看護学実習 家族看護学 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	専	講師	安本 卓也	平成24年4月	ファーストイヤーゼミ 母子支援看護論Ⅰ（小児） 母子支援看護論演習Ⅰ（小児） 小児看護学実習 原書購読・研究序論 看護研究（卒業研究）	一身上の都合により、就任が遅延(22) ※平成22年度開講科目「ファーストイヤーゼミ」は他の教員が担当する。他科目は平成23年度以降開講のため、支障はない。 平成24年3月31日付け一身上の都合により退職。 後任として平成24年1月の教員審査を経て、平成24年4月より安本卓也講師が就任。その他科目は他の教員が分担して担当(24)
専	教授	鳥居 修平	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 疾病治療論Ⅰ（総論） 疾病治療論Ⅱ（成人・老年） 疾病治療論Ⅲ（成人・老年） 保健医療概論 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	専	教授	鳥居 修平	平成24年9月	ファーストイヤーゼミ 倫理学（バイオエシックス） 疾病治療論Ⅰ（総論） 疾病治療論Ⅱ（成人・老年） 疾病治療論Ⅲ（成人・老年） 保健医療概論 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	後藤節子教授の一身上の都合による辞任により、「倫理学（バイオエシックス）」について分担追加となるため、平成24年7月変更書提出予定(23) 平成24年7月教員審査済(25)
専	教授	中島 正夫	平成23年4月	人間論 ファーストイヤーゼミ 疾病治療論Ⅳ（母性・小児） 公衆衛生学 保健統計学 疫学 保健福祉行政論 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）						
兼担	教授	中島 正夫	平成22年4月	人間論 疾病治療論Ⅳ（母性・小児）						
専	准教授	荒井 淑子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 療養支援看護学概論（成人・老年） 療養支援看護論Ⅱ （慢性期・老年期） 療養支援看護論演習Ⅱ（老年期） 早期体験実習 老年看護学実習 家族看護学 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）						「家族看護学」の担当範囲の変更(24) 平成24年1月教員審査済

設置時計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	石原　由華	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 感染予防学（微生物学） 感染予防学演習 フィジカルアセスメント学演習 看護過程展開論演習 （ケースメソッドを含む。） 基礎看護技術学演習Ⅰ （安全・安楽確保の援助技術） 基礎看護技術学演習Ⅲ （診療援助技術） 早期体験実習 基礎看護技術学実習 看護過程展開論実習 家族看護学 総合技術論演習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	専	教授	石原　由華	平成24年4月 平成24年9月	ファーストイヤーゼミ 感染予防学（微生物学） 感染予防学演習 フィジカルアセスメント学演習 看護過程展開論演習 （ケースメソッドを含む。） 基礎看護技術学演習Ⅰ（安全・安楽確保の援助技術） 基礎看護技術学演習Ⅲ （診療援助技術） 看護健康教育論 早期体験実習 基礎看護技術学実習 看護過程展開論実習 家族看護学 総合技術論演習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	平成24年4月より職位の変更及び担当科目の一部変更(24) 平成23年7月教員審査済 平成24年1月教員審査済 平成24年9月より担当科目の一部追加及び担当範囲の変更(25) 平成24年7月教員審査済 平成25年1月教員審査済
専	准教授	宇佐美　久枝	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 療養支援看護学概論（成人・老年） 療養支援看護論Ⅱ （慢性期・老年期） 療養支援看護論Ⅲ（終末期） 療養支援看護論演習Ⅰ（成人期） 慢性期成人看護学実習 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）						
専	准教授	熊澤　千恵	平成23年4月	ファーストイヤーゼミ 地域・在宅・精神看護学概論 精神看護支援論（精神健康障害を含む。） 在宅精神看護論 精神看護技術学演習 精神看護学実習 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	専	准教授	熊澤　千恵	平成24年4月	ファーストイヤーゼミ コミュニケーション技術論演習 地域・在宅・精神看護学概論 在宅・精神看護学概論 精神看護支援論（精神健康障害を含む。） 在宅精神看護論 精神看護技術学演習 精神看護学実習 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	平成24年4月より担当科目の一部追加変更(24) 平成23年7月教員審査済 平成24年1月教員審査済
専	准教授	小島　重子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 看護健康教育論 療養支援看護論Ⅰ （急性期・回復期・周手術期） 療養支援看護論演習Ⅰ（成人期） 慢性期成人看護学実習 急性期成人看護学実習 統合看護論 原書購読・研究序論 看護研究（卒業論文）	専	教授	小島　重子	平成24年4月	ファーストイヤーゼミ 看護健康教育論 療養支援看護学概論（成人・老年） 療養支援看護論Ⅰ（急性期・回復期・周手術期） 療養支援看護論Ⅱ（慢性期・老年期） 療養支援看護論演習Ⅰ（成人期） 慢性期成人看護学実習 急性期成人看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	平成24年4月より職位の変更及び担当科目の一部追加変更(24) 平成23年7月教員審査済 平成24年1月教員審査済 平成24年9月30日付け一身上の都合により退職。同氏の担当科目については、他の専任教員が教員審査を経て分担担当。授業運営上は支障はない(25)
							後任未定			
専	准教授	髙植　幸子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ フィジカルアセスメント学演習 看護過程展開論演習 （ケースメソッドを含む。） 基礎看護技術学演習Ⅰ （安全・安楽確保の援助技術） 基礎看護技術学演習Ⅱ （生活行動の援助技術） 早期体験実習 基礎看護技術学実習 看護過程展開論実習 総合技術論演習 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）						「フィジカルアセスメント学演習」の担当範囲の変更(24) 平成23年7月教員審査済
専	准教授	西谷　直子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 地域看護行政・管理論 地域看護活動実践論 地域健康教育指導論 地域・在宅看護学演習 地域公衆衛生看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	専	教授	西谷　直子	平成24年4月	ファーストイヤーゼミ 地域看護行政・管理論 地域看護活動実践論 地域健康教育指導論 地域・在宅看護学演習 地域公衆衛生看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	青石恵子講師の一身上の都合による辞任により、一部科目にオムニバス・共同担当科目の分担に変更が生じるため、平成23年7月変更書提出予定(23) 担当範囲の変更及び職位の変更(24) 平成23年7月教員審査済

設置時計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	肥田 佳美	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 地域看護支援技術論 在宅看護支援論 地域看護行政・管理論 地域・在宅看護学演習 在宅看護学実習 地域公衆衛生看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）						
専	講師	青石 恵子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 疫学 地域看護支援技術論 地域看護活動実践論 地域健康教育指導論 地域・在宅看護学演習 在宅看護学実習 地域公衆衛生看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	専	講師	西田 友子	平成23年9月	ファーストイヤーゼミ 疫学 地域看護支援技術論 地域看護活動実践論 地域健康教育指導論 地域・在宅看護学演習 地域公衆衛生看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	平成23年3月 青石恵子講師の一身上の都合による辞任により、平成23年9月より担当者の変更(23) 平成23年7月 変更書提出予定(23) 平成23年7月教員審査済(24)
専	講師	井野 恭子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 看護過程展開方法論 （ケースメソッドを含む。） 看護過程展開論演習 （ケースメソッドを含む。） 基礎看護技術学演習Ⅰ （安全・安楽確保の援助技術） 基礎看護技術学演習Ⅱ （生活行動の援助技術） 基礎看護技術学演習Ⅲ （診療援助技術） 早期体験実習 基礎看護技術学実習 看護過程展開論実習 総合実習 総合技術論演習 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	専	講師	井野 恭子	~~平成24年4月~~ 平成24年9月	ファーストイヤーゼミ 看護過程展開論演習 （ケースメソッドを含む。） コミュニケーション技術論演習 基礎看護技術学演習Ⅰ （安全・安楽確保の援助技術） 基礎看護技術学演習Ⅱ （生活行動の援助技術） 基礎看護技術学演習Ⅲ （診療援助技術） 早期体験実習 基礎看護技術学実習 看護過程展開論実習 総合実習 総合技術論演習 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	平成24年4月より担当科目の一部追加変更(24) 平成24年1月教員審査済 平成25年4月より担当科目の担当範囲の一部追加変更(25) 平成25年1月教員審査済
専	講師	大嶋 光子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 精神看護支援論 （精神健康障害を含む。） 在宅精神看護論 精神看護技術学演習 精神看護学実習 家族看護学 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）						
専	講師	田中 結花子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 看護健康教育論 療養支援看護論Ⅱ （慢性期・老年期） 療養支援看護論演習Ⅱ（老年期） 早期体験実習 老年看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）						
専	講師	中嶋 文子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 看護健康教育論 母子支援看護学概論（小児・母性） 母子支援看護論Ⅱ（母性） 母子支援看護論演習Ⅱ（母性） 母性看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）						

設置時計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	深谷 久子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 看護健康教育論 母子支援看護論Ⅰ（小児） 母子支援看護論演習Ⅰ（小児） 在宅精神看護論 小児看護学実習 家族看護学 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	専	講師	深谷 久子	平成24年4月	ファーストイヤーゼミ 看護健康教育論 母子支援看護学概論（小児・母性） 母子支援看護論Ⅰ（小児） 母子支援看護論演習Ⅰ（小児） 在宅精神看護論 小児看護学実習 家族看護学 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	平成24年4月より担当科目の一部追加変更及び担当範囲の一部変更(24) 平成24年1月教員審査済 平成25年3月31日付け一身上の都合により退職。同氏の担当科目については、後任教員が教員審査を経て担当(25)
					専	教授	阪口 しげ子	平成25年4月	ファーストイヤーゼミ 看護健康教育論 母子支援看護学概論（小児・母性） 母子支援看護論Ⅰ（小児） 母子支援看護論演習Ⅰ（小児） 在宅精神看護論 小児看護学実習 家族看護学 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	深谷久子講師の後任として平成25年1月の教員審査を経て、平成25年4月より阪口しげ子教授が就任(25)
専	講師	星野 純子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 疫学 看護健康教育論 療養支援看護論Ⅱ（慢性期・老年期） 療養支援看護論演習Ⅰ（成人期） 慢性期成人看護学実習 急性期成人看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	専	准教授	星野 純子	平成24年4月	ファーストイヤーゼミ 疫学 看護健康教育論 療養支援看護論Ⅱ（慢性期・老年期） 療養支援看護論演習Ⅰ（成人期） 慢性期成人看護学実習 急性期成人看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	平成24年4月より職位の変更(24) 平成23年7月教員審査済 平成25年3月31日付け一身上の都合により退職。同氏の担当科目については、後任教員及び他の専任教員が教員審査を経て分担担当(25)
					専	准教授	生田 美智子	平成25年4月	ファーストイヤーゼミ 看護健康教育論 療養支援看護論Ⅱ（慢性期・老年期） 療養支援看護論演習Ⅰ（成人期） 慢性期成人看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	星野純子准教授の後任として平成25年1月の教員審査を経て、平成25年4月より生田美智子准教授が就任(25) 「リハビリテーション論」を追加担当するため、平成25年7月に教員審査提出予定(25)
専	助教	奥川 ゆかり	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 母子支援看護学概論（小児・母性） 母子支援看護論Ⅱ（母性） 母子支援看護論演習Ⅱ（母性） 母性看護学実習 家族看護学 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	専	講師	奥川 ゆかり	平成24年4月	ファーストイヤーゼミ 母子支援看護学概論（小児・母性） 母子支援看護論Ⅱ（母性） 母子支援看護論演習Ⅱ（母性） 母性看護学実習 家族看護学 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	職位の変更(24) 平成23年7月教員審査済
専	助教	佐藤 好恵	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ フィジカルアセスメント学演習 看護過程展開方法論（ケースメソッドを含む。） 看護過程展開論演習（ケースメソッドを含む。） 基礎看護技術学演習Ⅱ（生活行動の援助技術） 基礎看護技術学演習Ⅲ（診療援助技術） 早期体験実習 基礎看護技術学実習 看護過程展開論実習 総合実習 総合技術論演習 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文） ファーストイヤーゼミ	専	講師	原 好恵	平成24年4月	ファーストイヤーゼミ フィジカルアセスメント学演習 看護過程展開論演習（ケースメソッドを含む。） 基礎看護技術学演習Ⅱ（生活行動の援助技術） 基礎看護技術学演習Ⅲ（診療援助技術） 早期体験実習 基礎看護技術学実習 看護過程展開論実習 総合実習 総合技術論演習 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	氏名変更(22) 職位の変更及び担当科目の一部変更(24) 平成23年7月教員審査済 平成24年1月教員審査済 平成24年度後期及び平成25年度前期開講科目は担当せず、同氏担当科目については、その他教員が教員審査を経て分担担当。平成25年度後期開より復帰予定(25)

設置時計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
					専	教授	箭野 育子	~~平成24年4月~~ 平成25年4月	ファーストイヤーゼミ 看護倫理 ~~看護過程展開方法論（ケースメソッドを含む。）~~ ~~看護過程展開論演習（ケースメソッドを含む。）~~ 基礎看護技術学演習Ⅲ（診療援助技術） 早期体験実習 基礎看護技術学実習 ~~看護過程展開論実習~~ 看護管理学（リーダーシップ論を含む。） 総合実習 総合技術論演習 原書講読・研究序論 看護研究（卒業論文）	新規追加採用(24) 平成23年7月教員審査済 平成24年1月教員審査済 担当科目の調整により、担当科目及び担当科目の担当範囲の一部変更(25) 平成25年1月教員審査済
兼担	教授	上嶋 正博	平成22年4月	人間論						
兼担	教授	岡田 敦	平成22年4月	臨床心理学 カウンセリング論	兼任	講師	須田 恵理子	平成24年9月	臨床心理学 カウンセリング論	平成25年4月 前任者療養休暇による担当者の変更(25)
兼担	教授	加藤 益幹	平成22年4月	歴史						
兼担	教授	北岡 崇	平成22年4月	哲学						
兼担	教授	高阪 謙次	平成22年4月	人間論						
兼担	教授	佐藤 厚子	平成22年4月	言語表現と伝達						
兼担	教授	武長 脩行	平成23年4月	ボランティア論						
兼担	教授	三井 悦子	平成22年4月	健康運動の科学と実践						
兼担	教授	渡邉 毅	平成22年4月	人間関係論	兼任	講師	渡邉 毅	平成25年9月	人間関係論	定年退職により非常勤講師として同科目を担当(25)
兼担	准教授	三木 邦弘	平成22年4月	統計の世界						
兼担	准教授	藤 岡 阿由未	平成23年4月	文学 芸術						
兼任	講師	藤 岡 阿由未	平成22年4月	文学 芸術						
兼担	講師	小杉 裕子	平成22年4月	芸術						
兼担	講師	大西 祥世	平成22年4月	日本国憲法	兼担	講師	手塚 崇聡	平成22年4月	日本国憲法	平成22年4月 前任者退職による担当者の変更(22)
兼担	講師	吉本 明宣	平成22年4月	数理の世界						
兼担	講師	中尾 友紀	平成22年4月	社会福祉学	兼任	講師	中尾 友紀	平成24年4月	社会福祉学	本学を退職後、同科目を非常勤講師として担当するため、身分の変更(24)
					兼任	講師	吉田 幸恵	平成25年4月	社会福祉学	前任者退職による担当者の変更(25)

設置時計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	椙山　正弘	平成22年4月	人間論						担当者の変更により授業を担当せず(24)
兼任	講師	井嶋　廣子	平成25年4月	災害看護学	兼任	講師	寺西　美佐絵	平成25年9月	災害看護学	前任者辞退による担当者の変更(25)
兼任	講師	伊藤　明子	平成25年4月	国際看護論						
兼任	講師	内山　靖	平成22年4月	リハビリテーション論						
兼任	講師	大井　正己	平成23年4月	精神看護支援論 （精神健康障害を含む。）	兼任	講師	原　健男	平成24年4月	精神看護支援論 （精神健康障害を含む。）	前任者辞退による担当者の変更(24)
兼任	講師	川泉　文男	平成22年4月	化学の世界						
兼任	講師	河辺　義信	平成22年4月	コンピュータと情報（応用）						
兼任	講師	Keith John Vargo	平成22年4月	外国語（英語）Ⅰ	兼任	講師	Miller Rachel Marie	平成22年4月	外国語（英語）Ⅰ	平成22年4月 前任者辞退による担当者変更（22）
					兼任	講師	Hayward,Dianne Louise	平成23年4月	外国語（英語）Ⅰ	平成23年4月 前任者(Miller Rachel Marie)辞退による担当者の変更(23)
								平成23年9月	外国語（英語）Ⅱ	平成23年9月 前任者(Nathan Tracey Lee)辞退による担当者の変更(24)
					兼任	講師	Ferrier,Aimee janina	平成24年4月	外国語（英語）Ⅰ	平成24年4月 前任者(Hayward,Dianne Louise)辞退による担当者の変更(24)
					兼任	講師	Evanoft Tanya	平成25年4月	外国語（英語）Ⅰ	平成25年4月 前任者(Ferrier,Aimee janina)辞退による担当者の変更(25)
兼任	講師	北坂　孝幸	平成22年4月	コンピュータと情報						
兼任	講師	重松　由美	平成22年4月	外国語（ポルトガル語）Ⅰ 外国語（ポルトガル語）Ⅱ						
兼任	講師	杉嵜　隆一	平成22年4月	環境の科学						
兼任	講師	杉本　百合香	平成23年4月	リスクマネジメント （安全・管理）						
兼任	講師	関　巌	平成22年4月	健康運動の科学と実践						
兼任	講師	高野　智	平成22年4月	人類学						
兼任	講師	田中　俊雄	平成23年4月	養護概論	兼任	講師	後藤　ひとみ	平成25年4月	養護概論	前任者辞退による担当者の変更(25)
兼任	講師	張　素芳	平成22年4月	外国語（中国語）Ⅰ 外国語（中国語）Ⅱ						
兼任	講師	中島　晴子	平成22年4月	生命の科学						
兼任	講師	中野　典子	平成22年4月	栄養代謝学 （生化学を含む。） 栄養治療論 （食品学を含む。）						

設置時計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	西牟田　祐美子	平成22年4月	外国語（英語）Ⅲ 外国語（英語）Ⅳ						
兼任	講師	Philip Gerard Colley	平成22年4月	外国語（英語）Ⅱ	兼任	講師	Nathan Tracey Lee	平成22年9月	外国語（英語）Ⅱ	平成22年9月 前任者辞退による担当者変更(22)
兼任	講師	三浦　昌子	平成25年4月	医療活動と協働						
兼任	講師	森　滋夫	平成22年4月	自然の科学	兼任	講師	渡邉　毅	平成25年4月	自然の科学	前任者辞退による担当者の変更(25)
兼任	講師	八巻　哲示	平成22年4月	物理の世界	兼任	講師	安田　淳一郎	平成23年4月	物理の世界	平成23年4月 前任者辞退による担当者変更(23)
					兼担	准教授	深谷和義	平成24年4月	物理の世界	平成24年4月 前任者辞退による担当者変更(24)
兼任	講師	山口　清	平成22年4月	健康運動の科学と実践						
					兼任	講師	許　麗	平成22年4月	外国語（中国語）Ⅰ	平成22年4月 履修者増加によるクラス追加(23)
								平成22年9月	外国語（中国語）Ⅱ	平成22年9月 開講クラス増による担当者の追加(23)
					兼任	講師	Delve Michael Robert	平成22年4月	外国語（英語）Ⅰ	平成22年4月 クラス編成の都合による担当者の追加(23)
								平成22年9月	外国語（英語）Ⅱ	平成22年9月 クラス編成の都合による担当者の追加(23)
					兼任	講師	Kjeldgaard,Marie Christine	平成23年4月	外国語（英語）Ⅰ	平成23年4月 前任者（Delve Michael Robert）辞退による担当者の変更(23)
								平成23年9月	外国語（英語）Ⅱ	平成23年9月 前任者（Delve Michael Robert）辞退による担当者の変更(24)
					兼任	講師	Bakes, Kerry Ann	平成24年4月	外国語（英語）Ⅰ	平成24年4月 前任者（Kjeldgaard,Marie Christine）辞退による担当者の変更(24)
					兼任	講師	Quinn, Hannah	平成24年9月	外国語（英語）Ⅱ	平成24年4月 前任者（Kjeldgaard,Marie Christine）辞退による担当者の変更(24)
					兼任	講師	石井　直宏	平成23年4月	コンピュータと情報（応用）	平成23年4月 前任者の担当コマ数減による担当者の追加(23)

（注）・ 申請書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
なお，当該設置に係る学部，学科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈○○学部　△△学科〉の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。
・ 後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・ 辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・ 年齢は，**「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢**を，**「変更状況」には平成２５年５月１日現在の満年齢**を記入してください。
・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

（２） 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
11 (9)	8 (7)	7 (7)	2 (2)	28 (25)	13 [2]	6 [△2]	8 [1]	0 [△2]	27 [△1]	70 歳	1 名

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（ ）内に開設時の状況を記入し，
「変更状況」には，平成２５年５月１日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに，［ ］内に設置認可時の
計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年年齢および，平成２５年５月１日現在，特例等により定年を超えて専任教員
として採用されている教員数を記入してください。

（３） 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	講師	青石恵子	平成23年3月31日付け、本人の一身上の都合による退職
2	教授	後藤節子	平成24年3月31日付け、本人の一身上の都合による退職
3	教授	田邊惠子	平成24年3月31日付け、本人の一身上の都合による退職
4	教授	栗田孝子	平成24年3月31日付け、本人の一身上の都合による退職
5	教授	木村美智子	平成24年3月31日付け、本人の一身上の都合による退職（退職後（平成24年度は客員教授（非常勤タイプ）として担当）
6	教授	小島重子	平成24年9月30日付け、本人の一身上の都合による退職
7	教授	柴山健三	平成25年3月31日付け、本人の一身上の都合による退職
8	准教授	星野純子	平成25年3月31日付け、本人の一身上の都合による退職
9	講師	深谷久子	平成25年3月31日付け、本人の一身上の都合による退職

（注）・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について，可能な限り具体的に記入してください。

（４） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成24年度においては、上記（6～9）の専任教員が一身上の都合により本学を退職した。これへ対応として、当該教員が担当していた（担当する予定であった）科目については、他の専任教員がＡＣ教員審査を経て、代替対応を行うなど必要な措置を行うとともに、新規採用候補者として平成24年度中に実施されたＡＣ教員審査に提出し、その後任補充を行った。学生への周知等については、掲示、学生用電子ジャーナル等の手段を用いて、必要な情報を適宜発信したこと、ガイダンス等において必要な説明を行った。また、科目の開講時期等についても、実習等の支障にならないよう配慮して開講するとともに、退職教員が学生生活指導、研究指導等を担当していた学生については、関連分野の他教員が分担して担当するなど、学生の不利益とならないよう努めている。

（注）・上記（３）の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

６　留意事項に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項	履　行　状　況	未履行事項についての実施計画
認　　可　　時 （21年11月）	１．運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	学生の通学のほか、スポーツの授業、学生の課外活動のためにキャンパス間にスクールバスを運行し、対応している（平日：約２０分間隔）。(22)【資料１】 学生の通学のほか、スポーツの授業、学生の課外活動のためにキャンパス間にスクールバスを運行し、対応している（平日：約２０分間隔）。(23)【資料１】 学生の通学のほか、スポーツの授業、学生の課外活動のためにキャンパス間にスクールバスを運行し、対応している（平日：約２０分間隔）。(24)【資料１】 学生の通学のほか、スポーツの授業、学生の課外活動のためにキャンパス間にスクールバスを運行し、対応している（平日：約２０分間隔）。(25)【資料１】	
	２．国際コミュニケーション学部表現文化学科の入学定員超過の是正に努めること。	入学予定者の歩留率についての推計が甘く、現在国際コミュニケーション学部表現文化学科の平均入学定員超過率が1.30となっている。入学定員超過率を各年度1.0倍に抑えるべく、歩留率の推計の精度を上げて、別紙のとおり平均入学定員超過率の是正に努めている。(22)【資料２】 入学予定者の歩留率についての推計が甘く、現在国際コミュニケーション学部表現文化学科の平均入学定員超過率が1.30となっている。入学定員超過率を各年度1.0倍に抑えるべく、歩留率の推計の精度を上げて、別紙のとおり平均入学定員超過率の是正に努めている。(23)【資料２】 入学予定者の歩留率についての推計が甘く、現在国際コミュニケーション学部表現文化学科の平均入学定員超過率が1.30となっている。入学定員超過率を各年度1.0倍に抑えるべく、歩留率の推計の精度を上げて、別紙のとおり平均入学定員超過率の是正に努めている。(24)【資料２】 入学予定者の歩留率についての推計が甘く、現在国際コミュニケーション学部表現文化学科の平均入学定員超過率が1.30となっている。入学定員超過率を各年度1.0倍に抑えるべく、歩留率の推計の精度を上げて、別紙のとおり平均入学定員超過率の是正に努めている。(25)【資料２】	

設置計画履行状況調査時（23年2月）	該当なし		
設置計画履行状況調査時（24年2月）	該当なし		
設置計画履行状況調査時（25年2月）	該当なし		

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し、報告年度を（）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された留意事項に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・　定員管理に係る留意事項への履行状況については，指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

７　その他全般的事項

＜看護学部　看護学科＞

（１） 設置計画変更事項等

認　可　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
	「早期体験実習」（１年次・１単位）について、実習先医療機関との協議の結果、実習を円滑に実施し、学生の学習効果を高めるため、実習時の補助者配置を充実することが望ましいとの結論に達し、設置認可時の専任担当教員７名（全員判定済「可」）及び補助者である助手８名に加えて、教員３名及び助手３名を補助者として追加配置することとした。このうち、追加配置となる教員は、助手と同様に、あくまで設置認可時の専任担当教員の指揮の下に実習の補助を担当するものであり、直接学生等の指導を行うものではない。なお、今後完成年度に向けて助手の採用数が増加する予定であるため、本措置は平成２２年度限りの対応である。
	「保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部を改正する省令」（平成２３年文部科学省・厚生労働省令第１号）の施行に伴う学則（教育課程）変更承認申請を平成２３年７月に提出する予定である。
	上記の変更承認申請については、平成２３年１０月３１日付け、承認された。

（注）・　１～６の項目により記入した事項以外で，設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

・　認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

[全学的な取り組み]

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

全学ＦＤ委員会を設置

全学ＦＤ委員会規準　**添付【資料３】参照**

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

○全学ＦＤ委員会委員の任期：平成２４年５月１日～平成２５年４月３０日
第１回：平成２４年　４月２４日(火）出席委員１６名
第２回：平成２４年　５月２９日(火）出席委員１０名
第３回：平成２４年　６月２６日(火）出席委員１０名
第４回：平成２４年　９月２５日(火）出席委員１０名
第５回：平成２４年１０月２３日(火）出席委員１０名
第６回：平成２４年１１月２７日(火）出席委員　９名
第７回：平成２５年　１月２９日(火）出席委員１０名
第８回：平成２５年　３月　５日(火）出席委員１０名
第９回：平成２５年　４月１６日(火）出席委員１４名

ｃ　委員会の審議事項等

第１回
１．平成２３年度全学ＦＤ委員会活動状況について（報告）
２．平成２３年度全学ＦＤ委員会予算の執行状況について（報告）
３．平成２４年度全学ＦＤ委員会予算について（報告）
４．平成２４年度新任教員研修について（報告）
５．平成２４年度全学ＦＤ委員会活動に関する件
６．その他

第２回
１．新任教員研修(学外）について（報告）
２．平成２４年度全学ＦＤ委員会予算について（報告）
３．平成２４年度ＦＤ研修に関する件
４．平成２４年度全学ＦＤ委員会活動に関する件
５．その他

第３回
１．ＦＤ研修(６月８日開催)実施報告について(報告)
２．新任教員研修(学外)について(報告)
３．平成２４年度科研費取得のための研修会に関する件
４．平成２４年度ＦＤ研修会に関する件
５．平成２４年度ＳＵＣＣＥＳＳ(椙山女学園トータルポートフォリオシステム）活用に向けての教員研修に関する件
６．その他

第４回
１．平成２４年度授業改善のための授業参観週間の実施状況ついて（報告）
２．平成２４年度ＦＤ研修会の実施状況について（報告）
３．平成２４年度ＳＵＣＣＥＳＳ(椙山女学園トータルポートフォリオシステム）講習会の実施状況について（報告）
４．平成２４年度全学ＦＤ委員会活動に関する件
５．平成２４年度全学ＦＤ委員会予算に関する件
６．平成２５年度全学ＦＤ委員会活動に関する件
７．平成２５年度全学ＦＤ委員会予算に関する件
８．その他

第５回
１．平成２４年度授業改善のための授業参観週間の実施について（報告）
２．平成２４年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」について（報告）
３．平成２４年度授業方法(アクティブ・ラーニング)についてのアンケート実施に関する件
４．平成２４年度「学部の教育・カリキュラム等の点検アンケート」実施に関する件
５．平成２５年度授業アンケート実施に関する件
６．その他

第６回
１．平成２４年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」について（報告）
２．平成２４年度全学ＦＤ委員会活動報告書の作成に関する件
３．平成２４年度「アクティブ・ラーニングについてのアンケート」に関する件
４．平成２４年度「教育・学修環境及び学生の学修時間に関するアンケート調査」に関する件
５．平成２５年度「授業アンケート」実施に関する件
６．平成２５年度シラバスの記載に関する件
７．その他

第７回
１．平成２４年度全学ＦＤ委員会活動報告書について（報告）
２．平成２４年度全学ＦＤ委員会予算の執行状況について（報告）
３・平成２４年度後期授業公開週間の実施状況について（報告）
４．平成２４年度「アクティブ・ラーニングについてのアンケート調査」の実施状況について（報告）
５．平成２５年度新任教員研修プログラムについて（報告）
６．「授業改善のためのＱ＆Ａ集」、「授業中の私語に関するアンケート調査」、「アクティブ・ラーニングについてのアンケート調査」及び「教育・学修環境及び学生の学修時間に関するアンケート調査」のデータ集の作成に関する件
７．平成２５年度前期授業アンケートの実施に関する件
８．その他

第８回
１．平成２４年度「アクティブ・ラーニングについてのアンケート調査」実施状況について（報告）
２．平成２４年度「教育・学修環境及び学生の学修時間に関するアンケート調査」実施状況について（報告）
３．シンポジウム「アクティブ・ラーニングを活用した教育力の強化(産業界との対話を通じた教育改革力の向上）」について（報告）
４．ＦＤセミナー(コンソーシアム京都主催）について（報告）
５．「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」について（報告）
６．新任教員研修プログラムに関する件
７．授業の質向上のためのQ&A集作成に関する件
８．「授業中の私語に関するアンケート」の実施報告の取り扱いに関する件
９．その他

第９回
１．平成２４年度全学FD委員会活動状況について（報告）
２．平成２４年度全学FD委員会予算の執行状況について（報告）
３．平成２５年度前期授業アンケートの対象科目選定について（報告）
４．平成２５年度全学FD委員会予算について（報告）
５．平成２５年度新任教員研修プログラムについて（報告）
６．平成２５年度全学FD委員会活動案に関する件
７．「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に関する件
８．「学士課程教育の質的転換のための改革アクションプラン」に関する件
９．その他

② 実施状況

ａ 実施内容

＜教育・学修環境及び学生の学修時間に関するアンケート調査＞

b　実施方法

＜教育・学修環境及び学生の学修時間に関するアンケート調査＞

１・実施の目的

教育・学修環境の改善を図るため、本学の提供している教育・学修環境及び学生の学修時間を調査する。

２．実施時期

平成２５年１月１５日（火）～２月２８日（木）

３．実施方法

〇学生支援システム（S＊map)のアンケート機能を利用し、無記名によるアンケート調査を実施した。

〇アンケート調査の依頼には、学生支援システム（S＊map)のジャーナルを用いた。

c　実施状況

＜教育・学修環境及び学生の学修時間に関するアンケート調査＞

〇学生数５，８２１名の内、１，１３３名が回答した。（１９．５%）

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

＜教育・学修環境及び学生の学修時間に関するアンケート調査＞

〇授業改善の取り組みの参考になるように、アンケート調査結果の冊子を作成し、全教育職員（専任教員、非常勤講師及び助手）に配布した。

a　実施内容

＜アクティブ・ラーニングについてのアンケート調査＞

b　実施方法

＜アクティブ・ラーニングについてのアンケート調査＞

１・実施の目的

本学の授業方法におけるアクティブ・ラーニングの導入実態を把握し、その取り組みのノウハウ等を学内で共有し、授業改善の参考にする。

２．実施時期

平成２４年１２月２０日（木）～平成２５年１月３１日（木）

３．実施方法

〇学生支援システム（S＊map)のアンケート機能を利用し、記名式によるアンケート調査を実施した。

c　実施状況

＜アクティブ・ラーニングについてのアンケート調査＞

〇科目数　全２，７１２科目の内、１８４科目の回答があった。（６．７%）

〇回答教員数　専任教員　２２０名中、４５名の回答があった。（２０．５%）

非常勤講師　４８０名中、１４名の回答があった。（２．９%）

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

＜アクティブ・ラーニングについてのアンケート調査＞

〇授業改善の取り組みの参考になるように、アンケート調査結果の冊子を作成し、全教育職員（専任教員、非常勤講師及び助手）に配布した。なお、記述式の項目では、アクティブ・ラーニングの具体的な内容と期待される効果を授業形態ごとにまとめ、参考事例として全教員が共有できるようにした。

a　実施内容

＜ＦＤ研修会＞

●新任教員研修開催
●ＦＤ研修会（研究者の倫理規範）
●新任教員研修（学外）
●科研費取得のための研修会
●ＦＤ研修会（学部ＦＤ活動報告）
●ＳＵＣＣＥＳＳ（椙山女学園トータルポートフォリオシステム）活用に向けての講習会

c　開催状況

●新任教員研修開催
・開催日：平成２４年４月１日 他
・着任時の研修・ガイダンス：事務関係（学園の歴史、本学ポータルサイト、コースナビ、教務事項他）
・３つのポリシーおよび授業等に対する内容：学部・学科ごとに実施。
・実施状況の記録。
・新任教員からの要望があれば授業参観を実施する。
・継続した相談窓口（学部長・学科主任が対応）

●ＦＤ研修会（研究者の倫理規範）
・日　時：平成２４年６月８日（金）１７：１５～１８：１５
・場　所：星が丘キャンパス文化情報学部　メディア棟００１講義室
・内　容：研究者が遵守すべき倫理規範について
・報告者：山本昭和　文化情報学部教授
　　北岡崇　　学長補佐（全学ＦＤ委員長）
・参加者：１４１名　出席率６２.１%

●科学研究費取得のための研修会
・日　時：平成２４年７月１３日（金）１７：００～１８：３０
・場　所：国際コミュニケーション学部棟２０６教室
・内　容：科学研究費補助金を獲得するために－採択事例に即し、申請時に留意したことを話し、
　　採択されるためのヒントを示します－
・報告者：樋口謙一郎　文化情報学部准教授
　　戸田由紀子　国際コミュニケーション学部准教授
　　小野徹郎　　生活科学部教授
・参加者：３３名

●ＦＤ研修会
・日　時：平成２４年９月１３日（木）
　第１回：１１：３０～１２：３０
　第２回：１３：００～１４：００
・場　所：星が丘キャンパス　生活科学部棟　Ｂ２０６講義室
・内　容：第１回　文化情報学部ＦＤ活動報告
　　第２回　看護学部ＦＤ活動報告
・報告者：第１回　羽成隆司　　文化情報学部教授
　　第２回　太田美智男　看護学部教授
・参加者：１４５名（第１回６０名、第２回８５名）出席率６３.９%

●ＳＵＣＣＥＳＳ（椙山女学園トータルポートフォリオシステム）活用に向けての講習会
・日　時：平成２４年９月１３日（木）１５：３０～１７：００
・場　所：国際コミュニケーション学部ＭＭＳ２、教室及び文化情報学部棟ＭＭＳ４
・内　容：ＳＵＣＣＥＳＳ（椙山女学園トータルポートフォリオシステム）の簡単な活用
方法を実技講習する
・参加者：基礎　４名（専任教員４名）
　　応用１８名（専任教員１７名、非常勤講師１名）

a　実施内容

＜授業改善のための授業参観週間の実施＞
教員がお互いの授業を参観する。参観した者は良い工夫を自分の授業に生かす
とともに参観の後フィードバックシートを授業担当者にメール等で伝える。
授業を公開した教員も、意見やアドバイスを参考にし、授業改善を図る。

b　実施方法

＜授業改善のための授業参観週間の実施＞
前期実施スケジュール
【６月２６日（火）～７月５日（木）】
　全学ＦＤ委員会各委員が、各学部５名・５科目以上の科目について、担当教員から公開許可を得て、教務課に連絡する。
【７月６日（金）】
　授業参観週間の公開授業一覧及びフィードバックシートをＳ*mapのジャーナルで全教員に通知する。参観を希望する教員は、授業担当者に直接メールまたは電話で参観希望を連絡する。
【７月９日（月）～７月２７日（金）】
　授業参観週間。　授業公開した教員は、参観者数を各学部の全学ＦＤ委員に報告する。各学部の全学ＦＤ委員は、各授業の参観者数を教務課に報告する。

後期実施スケジュール
【９月２６日（水）～１０月１５日（月）】
　全学ＦＤ委員会各委員が、各学部５名・５科目以上の科目について、担当教員から公開許可を得て、教務課に連絡する。
【１０月２４日（水）】
　授業参観週間の公開授業一覧及びフィードバックシートをＳ*mapのジャーナルで全教員に通知する。参観を希望する教員は、授業担当者に直接メールまたは電話で参観希望を連絡する。
【１１月１９日（月）～１２月２１日（金）】
　授業参観週間。　授業公開した教員は、参観者数を各学部の全学ＦＤ委員に報告する。各学部の全学ＦＤ委員は、各授業の参観者数を教務課に報告する。

c　実施状況
＜授業改善のための授業参観週間の実施＞
前期　授業公開科目数：４６　参加者：教員３１名
後期　授業公開科目数：６１　参加者：教員２８名

a　実施内容
＜教員相互の授業参観の実施＞
①新任教員研修の一環としての授業参観
②学部学科内での教員相互の授業参観
③学部を超えた、教員相互の授業参観
※非常勤講師の参加も可

c　実施状況
＜教員相互の授業参観の実施＞
授業参観シート７件：人間関係学部４件、現代マネジメント学部２件、教育学部１件

a　実施内容　参加状況
＜新任教員研修（学外）の参加＞
新任教員研修の一環として八王子セミナーハウスが主催する第２回新任教員研修セミナー（９月３日から５日までの２泊３日）に７名の新任教員が参加した。

a　実施内容　参加状況
＜ＦＤフォーラムの参加＞
ＦＤ研修の一環として大学コンソーシアム京都が主催する第１８回ＦＤフォーラム（２月２３日から２４日までの１泊２日）に３名の教員と１名の事務職員が参加した。

a　実施内容
＜産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業＞
アクティブ・ラーニングを活用した教育力強化をテーマにシンポジウムを開催した。【産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業における、連携ＦＤ、中部地域ブロック東海Ａ[教育力]チームとしての開催】
日時：平成２５年２月８日(金）１３：３０～１７：００
会場：椙山女学園大学　星が丘キャンパス　人間交流会館１階　講義室

[看護学部としての取り組み]
本年度は学部開設3年目となり、3年生の領域別臨地実習も開始され、教員が研修会に参加することが難しくなるため、学生への研究指導充実のために「研究倫理」、実習での教員の指導力を向上するために「医療安全」、「教員向けフィジカルアセスメント」などの看護学教育に関する研修会を開催する。

①　実施体制
a　委員会の設置状況
看護学部ＦＤ委員会を設置
構成員：学部長、学部教員3名

b　委員会の開催状況
第1回　平成24年4月16日（月）　出席者2名
１．平成24年度看護学部 FD委員会活動実施案について
２．看護学部FD委員会事業計画予算案について

第2回　平成24年5月22日（火）　出席者3名
１．平成24年度に予定されている日程と内容の確認
２．9月13日に全学ＦＤが開催されることを確認
３．10月のＦＤについて、名古屋大学医学部保健学科の山内教授にフィジカルアセスメントについての講演を依頼し、日程調整をした。
４．学会報告については、8月4、5日熊本県で開催される日本看護学教育学会に、母性看護学領域から2名に参加を依頼し、その報告を10月もしくは11月に開催する予定となった。
５．平成22年度および23年度の学園研Ｃ獲得者による研究報告会は、12月もしくは平成25年1月に実施する予定を確認した。

第3回　平成24年6月11日（月）　出席者2名
１．平成24年6月12日開催する「倫理について」の研修会について

第4回　平成24年9月10日　（月）　出席者2名
１．平成24年9月11日開催する「医療安全」について

第5回　平成24年10月8日　（月）　出席者2名
１．平成24年10月9日開催する「第22回日本看護学教育学会総会参加報告」、「科学費取得のための研修会」について

第6回　平成24年10月31日（水）　出席者2名
１．平成24年11月1日開催する「教員向けフィジカルアセスメントについて」について

第7回　平成24年10月19日(金)　　出席者2名
１．平成24年度授業改善のための授業参観週間の実施について
２．平成24年度授業方法（アクティブ・ラーニング）についてのアンケート実施に関する件
３．学園研Ｃ獲得者による研究報告会開催について（1月、3月開催）

第8回平成24年12月6日（木）　　出席者2名
１．学園研Ｃ獲得者による研究報告会開催について（1月、3月開催）

②　実施状況

ａ　実施内容

平成24年度看護学部FD研修会および外部研修セミナー、外部研修会への参加者派遣

ｂ　実施方法

教育研究方法及び科研費取得に関するテーマで、他大学の教授や看護学部専任教員を講師として講義形式の研修会を開催した（開催時間は1時間から2時間半）。学部教員の参加率は領域別実習開始前の前期開催分は86%、77%と非常に高かったが、実習が始まった後期開催分では62%、48%と参加率が低下した。年度末に開催予定であった学園研究費Ｃ獲得者による研究報告会については、発表者の都合がつかず開催できなかった。その他、学外団体（公益財団法人 大学セミナーハウス）が主催する2泊3日の新任教員研修セミナーへ若手教員（講師1名）を派遣した。また、日本私立看護系大学協会主催の「看護学士教育カリキュラムの再検討―カリキュラム・マップの活用」をテーマとした研修会には、学部カリキュラム改訂の参考とするため学部長と教授1名が参加した。

ｃ　開催状況（研修会）

平成24年6月12日（火）　参加者数36名
テーマ：「倫理について」
講師：本学看護学部　菅屋潤壹教授

平成24年9月11日（火）　参加者数33名
テーマ：「医療安全について」
講師：名古屋大学医学部附属病院　医療の質安全管理部　長尾能雅教授

平成24年10月9日（火）　参加者数26名
テーマ：「第22回日本看護学教育学会総会参加報告」
講師：本学看護学部　中嶋文子講師、那波潤美助手
テーマ：「科研費取得のための研修会」
講師：看護学部 石原由華教授

平成24年11月1日（木）　参加者数20名
テーマ：「教員向け:フィジカルアセスメント教育について」
講師：名古屋大学医学部基礎看護学講座　山内豊明教授

（３）自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

※添付【資料４】参照

②　自己点検・評価報告書

本年度は、財団法人大学基準協会の大学評価を受けるため、大学基準協会へ提出する報告書等に基づき、認証評価後に合併号として取りまとめる予定で準備を進めている。

ａ　公表（予定）時期

平成２６年３月（予定）

ｂ　公表方法

・大学のホームページ上に公開予定。

③　認証評価を受ける計画

・財団法人大学基準協会による大学評価を受けるため、「点検・評価報告書」を平成２４年度中に同協会へ提出提出した。今後は基準への適合性を判断するために必要なプロセスを順次進めていく予定である。

（４）情報提供に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

ａ　ホームページに公表の有無　　（　　㊀有　　・　　無　　）

ｂ　公表時期（未公表の場合は予定時期）　　（　平 成 ２ ５ 年　７ 月　）

（４） 情報提供に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

ａ　ホームページに公表の有無　　（　　㊒　　・　　無　　）

ｂ　公表時期（未公表の場合は予定時期）　　（　平 成 ２ ５ 年　７ 月　）

【平成25年4月8日(月)～】

星が丘方面スクールバス時刻表（月曜日～金曜日）

※始発便の発車場所は星が丘自動車学校です。

●は一社東経由　　乗車時:飲食厳禁･学生証提示

日進ｷｬﾝﾊﾟｽ →	一社東 →	星が丘ｷｬﾝﾊﾟｽ→	一社東 →	日進ｷｬﾝﾊﾟｽ着
星が丘自動車学校から随時発車	→	8:25～8:40		8:45～9:00
９：００		９：２０		９：３５
● ９：２０	● ９：３０	● ９：４０		● ９：５５
９：４０		１０：００		１０：１５
● １０：００	● １０：１０	● １０：３０		● １０：４５
１０：２０		１０：４０		１０：５５
● １０：４５	● １０：５５	● １１：０５		● １１：２０
１１：００		１１：２０		１１：３５
● １１：２０	● １１：３０	● １１：４０		● １１：５５
１１：４０		１２：００		１２：１５
１２：００		１２：２０		１２：３５
１２：２０		１２：４０		１２：５５
● １２：３０	● １２：４０	● １２：５０	● １２：５５	● １３：１０
１２：４０		１３：００		１３：１５
１３：００		１３：２０		１３：３５
１３：２０		１３：４０		１３：５５
１３：４０		１４：００		１４：１５
● １４：００	● １４：１０	● １４：２０	● １４：２５	● １４：４０
１４：２０		１４：４５		１５：００
１４：４０		１５：００		１５：１５
● １５：００	● １５：１０	● １５：２０	● １５：２５	● １５：４０
１５：２０		１５：４０		１５：５５
１５：４０		１６：００		１６：１５
１６：００		１６：２０		１６：３５
１６：２０		１６：４０		１６：５５
● １６：４０		● １７：００	● １７：０５	● １７：２０
１６：４０		１７：００		１７：１５
１７：００		１７：２０		１７：３５
● １７：３０		● １７：５０	● １７：５５	● １８：１０
１８：００		１８：２０		１８：３５
● １８：２０		● １８：４０	● １８：４５	● １９：００
▲ １８：５０				

星が丘方面スクールバス時刻表（土曜日）

※すべてキャリアサポート課前からの乗降車になります

日進ｷｬﾝﾊﾟｽ →	一社東	→ 星が丘ｷｬﾝﾊﾟｽ →	一社東 →	日進ｷｬﾝﾊﾟｽ着
		８：４０		９：００
● ９：００	● ９：１０	● ９：２０		● ９：３５
９：４０		１０：００		１０：１５
● １０：００	● １０：１０	● １０：２０		● １０：３５
１０：３０		１０：５０		１１：０５
● １１：００	● １１：１０	● １１：２０		● １１：３５
１１：３０		１１：５０		１２：０５
１２：００		１２：２０		１２：３５
● １２：３０		● １２：５０	● １２：５５	● １３：１０
１３：００		１３：２０		１３：３５
１４：００		１４：２０		１４：３５
１５：００		１５：２０		１５：３５
１６：００		１６：２０		１６：３５
● １７：００		● １７：２０	● １７：２５	● １７：４０
▲ １７：４０				

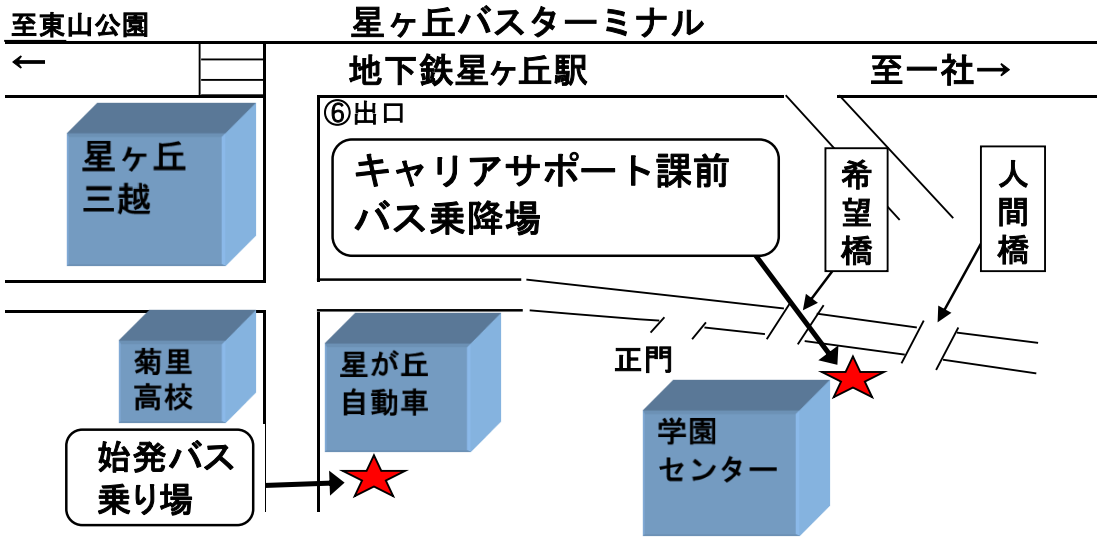
＜利用上の注意＞

①バスは途中、「極楽」交差点近くで乗降車できます。（詳細場所は学内掲示で確認のこと）利用する場合は、車内から確認できるよう大きく手を上げてください。極楽停車場所通過時間は、星が丘キャンパスからおおよそ10分前後を目安としてください。日進キャンパス発ー星が丘キャンパス行、特に一社東経由においては、「高針台中東」交差点付近での降車となる場合があります。

②天候や道路状況等により遅延着になる場合があります。

③星が丘方面は乗車人数も多く、特に8:40、10:30、13:00のスクールバスは満車で乗車できなくなることが予測されますので、早めの便に乗車してください。

④▲は日進キャンパスで利用者がいない時は運休します。



入学定員超過の状況

椙山女学園大学

学部等名	項目	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
国際コミュニケーション学部 (合計)	入学定員超過率 入学者数 入学定員	(1.28) 256 200	(1.30) 260 200	(1.20) 241 200	(1.28) 256 200	(1.03) 206 200	(1.13) 227 200	(1.10) 221 200	(1.10) 221 200
国際言語コミュニケーション学科	入学定員超過率 入学者数 入学定員	(1.28) 135 105	(1.23) 130 105	(1.16) 122 105	(1.21) 128 105	(1.02) 108 105	(1.16) 122 105	(1.09) 115 105	(1.08) 114 105
表現文化学科	入学定員超過率 入学者数 入学定員	(1.27) 121 95	(1.36) 130 95	(1.25) 119 95	(1.34) 128 95	(1.03) 98 95	(1.10) 105 95	(1.11) 106 95	(1.12) 107 95

平均定員超過率(過去4年)	国際コミュニケーション学部	1.26	1.20	1.16	1.13	1.09
	国際言語コミュニケーション学科	1.22	1.16	1.14	1.12	1.09
	表現文化学科	1.30	1.24	1.18	1.14	1.09

【資料３】

椙山女学園大学全学ＦＤ委員会規準

平成１２年大規準第４号
平成１２年5月１６日制定

（趣旨）

第１条　この規準は、椙山女学園大学におけるファカルティ・ディベロップメント（Faculty　Development）に関する事項を円滑かつ有効に推進するために設置する全学 FD 委員会（以下「委員会」という。）について必要な事項を定める。

（審議事項）

第２条　委員会は、前条の趣旨を実現するため、ファカルティ・ディベロップメントに関する次の各号に掲げる業務を行う。

(1)　企画・立案に関する事項
(2)　必要な研究調査に関する事項
(3)　学部間の連繋及び調整に関する事項
(4)　研究会、講演会及び教員研修等に関する事項
(5)　大学間の連携等に関する事項
(6)　その他学長が特に必要と認める事項

（委員会）

第３条　委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

(1)　学長が指名する学長補佐
(2)　各学部のＦＤ委員会の委員　各１名
(3)　学長が指名する者　若干名

２　前項第２号及び第３号の委員の任期は、２年とし、再任を妨げない。

３　第１項第２号の委員に欠員が生じた場合には、その都度委員を補充しなければならない。この場合において、補充による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

４　委員会に、委員長を置き、委員長は学長補佐をもって充てる。

（会議）

第４条　委員会の会議は、委員長が招集し、委員長は会議の議長となる。

２　会議は、各学部１名以上の委員を含む委員の過半数の出席により成立する。

３　会議には、議長が必要と認めた場合、委員以外の者を陪席させることができる。

（事務）

第５条　委員会の事務は、教務課が行う。

（学部委員会）

第６条　各学部に学部ＦＤ委員会を設置するものとする。

２　前項の学部ＦＤ委員会の構成、委員長の選任方法及び委員の任期については、当該学部の教授会において定める。

（規準の改廃）

第７条　この規準の改廃は、委員会が発議し、大学協議会の議を経て学長が決する。

附　則

この規準は、平成１２年５月１６日から施行する。

附　則（平成１９年大規準第８号）

この規準は、平成１９年９月１日から施行する。

附　則（平成２２年大規準第９号）

この規準は、平成２２年４月１日から施行する。

【資料４】

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

椙山女学園大学
看護学部

（現状の説明）

看護学部は椙山女学園大学の７番目の学部として平成 22 年 4 月に発足した。本学部は『人間になろう』という学園の教育理念のもと、看護職者に求められる豊かな人間性育成を基盤として、幅広い専門的知識と優れた技術を兼ね備えた看護職者の養成を目指している。

現在の看護職者を取り巻く諸問題を挙げると、第一に、看護師の質の向上という目標は４年制大学の看護教育に課せられたものと考える。次の問題としては、日本における高齢化社会の到来、臨床医療の高度化、医療現場における院内感染の拡大、患者権利の保障に伴うインフォームド・コンセントの徹底、一方で看護学実習における介入行為を伴う看護行為の制約など、社会や保健医療を取り巻く環境変化に伴い、臨地実習のあり方の見直しや、看護教育内容を絶えず工夫する必要性が大きな課題となっている。

本学部では、これらの医療現場の変化と社会の要請に的確に対応し、医療現場の多様な問題に真摯に向かい合い、コミュニケーション能力や医療のグローバル化に理解をもち、生命への畏敬と使命感を持った看護職となりうる人材の養成を目指している。

学部の構成は看護学科１学科である。平成 22、23 年度の入学生については、看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格を取得できる、所謂、統合カリキュラム（卒業単位 128 単位）を適用している。平成 24 年度入学生から保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴う保健師教育選択制を導入して、看護師国家試験受験資格取得課程（卒業単位 126 単位）、看護師・保健師国家試験受験資格取得課程（卒業及び資格取得に必要な単位 134 単位）がスタートした。なお、本学部では養護教諭一種免許状を取得できる選択コースも学部開設時から設置している。

以上の目的を達成するために、看護職に必要な人間味あふれる豊かな情操と確かな実践力を修得するためのカリキュラムを準備している。そこでは『人間になろう』という教育理念の中で培われた「人間論」を始め、先行６学部の教育・研究実績が織り込まれ、多様化する看護実践能力の修得を目指した総合的学習を展開している。

（総括評価）

開設して３年になり、教養教育科目、専門基礎科目（専門科目である看護学を学ぶために必要な基礎となる科目）に加えて、専門科目でも多くの講義科目、演習科目、看護過程展開論実習及び各領域別の臨地実習科目が開講された。基礎看護学と各領域別の専門科目も科目の開講が100％進み、未開講科目は４年次開講の総合実習と総合看護学の５科目のみである。これらの教育の実施内容及び学部教員の研究活動については、大学としての教育研究活動全般を報告する『大学年報』、全学ＦＤ委員会が取りまとめた学生による授業アンケート調査及び教員によるリフレクションペーパー、『椙山女学園大学研究論集』、『看護学部紀要』などで公表している。概して、３年目は学部としての実質展開をすべく努力した。開設３年目の特記すべき事柄について以下に示す。

① 平成 24 年度入学生は 106 名（志願者総数 747 名、定員 100 名）であり、学部開設以来引き続き看護職に対して希望を抱いた質の高い学生を確保できた。

② ３年次開講の看護過程展開論実習は、名古屋大学医学部附属病院で平成 24 年 7 月 30 日（月曜日）から 8 月 10 日（金曜日）の間の 5 日間ずつ、学生を 55 名と 48 名の 2 グループに分けて行った。３年後期から始まった領域別臨地実習は、103 名の学生を 10 グループに分け、急性期成人看護学、慢性期成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、在宅看護学、地域公衆衛生看護学、精神看護学のそれぞれの実習が展開された。実習施設は、名古屋大学医学部附属病院をはじめとする名古屋市内の基幹病院など 10 か所の病院、訪問看護ステーション、老人保健施設、保健所・保健センター、企業、学校などの公衆衛生実習施設、椙山女学園大学附属幼稚園などである。

③ 卒業論文へ直結する原書講読・研究序論は、全ての教授・准教授・講師の 25 名が４～５

名ずつの学生を受け持ち、第３学年前期に 15 回コマのゼミを行った。

④ ３年生に対しては、実習先での看護師の職務内容を体験させるだけでなく、卒業後の進路を考える機会が必要である。そのために、学内で病院案内会を開催することとし、平成 25 年 2 月 10 日（土）に実習病院 13 か所と県内の大規模病院 18 か所の看護部長や採用担当者を招き、各病院の内容の説明と学生の個別相談会を開催した。３年生全員と１、２年生 20 名ほどが参加した。

⑤ 平成 24 年度の科学研究費補助金については、看護学部の申請件数 26 件（研究代表者）のうち採択件数は 7 件、採択率は 27%となり、申請・採択件数、採択率とも前年を上回った。平成 24 年度には学部ＦＤ活動として教育・研究に関する研修会を５回開催し、教員の参加率も領域別実習が始まる前の前期は 77%から 86%と高く（領域別実習が始まった後期開催分は 62%、48%とやや低調）、看護学教育及び研究方法に関する認識が深まり、教員相互の交流にもつながった。